

会議録	
会議名	令和4年度第1回（第10回）三豊市地域公共交通活性化協議会
日時	令和4年5月31日（火）10時00分～11時45分
場所	三豊市危機管理センター201・202会議室
出席者	<p>[委員] 16名 宮崎耕輔（会長）、紀伊雅敦（副会長）、綾章臣、鴨田嘉史、峰久數俊、長尾基哉（南委員代理）、鹿児島康一、萬藤満、串田正人、戸城浩二、藤川泰文、滝口直樹、吉岡利浩（岩崎委員代理）、手嶋一了、天羽和彦、五領田和夫</p> <p>[事務局] 4名 交通政策課（西城課長、近藤課長補佐、森糸主任、田尾副主任）</p>
議事	<p>(1) 役員の選任について</p> <p>(2) 令和3年度事業報告及び収支決算について</p> <p>(3) 令和4年度事業計画及び収支予算について</p>
報告事項等	<p>(1) 三豊市地域公共交通計画の事業進捗状況について</p> <p>(2) 三豊市地域公共交通計画の成果指標について</p> <p>(3) 三豊市福祉有償運送運営協議会の設置について</p>

発言者	会議要旨
	<開会>
事務局	1. 委員紹介
	2. 議事
	(1) 役員の選任について
事務局	<説明>
綾委員	これまでの方向性を引き継いでいくためにも、従来の役員の皆様に引き続きお願いできればと思うが、いかがか。
事務局	他に意見も無いようなので、それぞれの役員に引き続きお願いするというところでよろしいか。
	<異議なし>

事務局	<p>それでは、議事（１）は、会長を宮崎委員、副会長を紀伊委員、監事を串田委員に、それぞれ引き続きお願いするということで承認された。役員を代表して宮崎会長から一言ご挨拶を賜りたい。</p>
宮崎会長	<p><挨拶></p>
事務局	<p>これ以降は、規約に則り宮崎会長に議長をお願いする。</p>
事務局	<p>（２）令和３年度事業報告及び収支決算について <説明></p>
宮崎会長	<p>続けて、監事の串田委員から会計監査報告をお願いしたい。</p>
串田委員	<p>令和３年度の本協議会の会計について監査を行った結果、全て適正に処理されていたことを報告する。</p>
宮崎会長	<p>以上の説明について、質問や意見等があれば。</p> <p><質問等は特に無し、原案承認></p>
事務局	<p>（３）令和４年度事業計画及び収支予算について <説明></p> <p>以上の説明について、質問や意見等があれば。</p> <p><質問等は特に無し、原案承認></p>
事務局	<p>３．報告事項等 （１）三豊市地域公共交通計画の事業進捗状況について <説明></p>
宮崎会長	<p>以上の説明について、質問や意見等があれば。</p>
手嶋委員	<p>コミュニティバスのダイヤ改正が５月に実施されたようだが、ＪＲのダイヤ改正とずれているのは何故か。</p> <p>また、民間主導で新たな交通サービスが検討されているとのことで、市として</p>

事務局	<p>も入ってくる情報は断片的な状況かもしれないが、利用者からすると地域旅客運送サービスであることに変わりはない。このような場合に、本協議会がどのように関わっていくのか難しいところだが、そのあたりの考えがあれば伺いたい。</p> <p>コミュニティバスのダイヤ改正は例年であれば4月1日に実施しているが、今年度は新たに建設した市民病院の開院に合わせ5月9日にダイヤ改正を実施した。</p> <p>新たな交通サービスに対する関わり方については、事務局としても悩んでいるところである。市としては財政面ではなく、あくまで関係者や地域との調整等の面で支援できればと考えている。また、これから実証を経て本格導入という流れになるとすれば、本格導入の際には本協議会にお諮りする必要がある。実証運行に関しても本協議会において出来る限り事務局から情報共有はしていくが、民間ベースで進んでいる話なので、どのタイミングでどのような情報共有ができるのか、難しいところである。協議会としての関わり方や事業の進め方など、皆さんの知恵をお借りしながら進めたいので今後ともよろしくお願ひしたい。</p>
手嶋委員	<p>協議会として、新しい取り組みを阻害するようなことがあってはならないし、民間事業者のアイデアを尊重していきたい。また、新しい移動サービスが増えるチャンスでもあり、サービス開始後は旅客運送サービスの利便性・効率性のバランスを図っていくという話になってくると思われるので、サービス開始後も状況を注視していく必要がある。</p>
宮崎会長	<p>非常に重要な意見をいただいた。今回検討されている mobi もそうだが、色々な移動サービスが登場していて、最近では地域内住民の互助による移動サービスなどもよく検討されている。こういった新しいサービスの是非等を本協議会でガチガチに議論するというのではなく、情報共有をしていきたい。協議会には地域の交通事業者、関係する方々がいるので、まずはそのような関係者に適切なタイミングで情報を流していただき、皆さんがウィンウィンの関係になれるように進めていきたい。</p> <p>また、国をあげて ICT や観光といった面で様々な実証等が行われるように聞いているが、そこにチャンスがあると思ひ新しい事業者が参入してくる場合もある。事務局の方にしっかりと情報が集まるような体制をとってもらひ、新しい事業者にも地域に入ってもらひながらうまく調和をとっていききたいと思ひ。</p>
鴨田委員	<p>今回の mobi については、中心となる事業者から地元事業者への説明はないが、対象地域である詫間・仁尾地区のタクシー事業者等で新しい会社を作ると聞ひ</p>

	<p>ている。心配しているのは、新しい事業者が入ってきて事業を始め、中途半端に事業を止められると地域としては非常に困るということ。地元のタクシー会社としては、新しいサービスが始まることにより本来のタクシー事業が成り立たなくなると困るので、仕方なく協力するというのが実情だと思っている。別の地域で実証をしてみて、良かったから三豊市にも進出するという形をとってほしい。ただ、このサービスが非常に良い状態で進み、利用者にも受け入れられ、もっと広げていこうということであれば、その時は弊社も協力する旨を伝えている。今回は実証ということで、成功するのか、失敗するのか、注目していきたいと思っている。</p>
<p>宮崎会長</p>	<p>何をもって成功とするのか、失敗とするのかは難しいところである。2月の実証においては、市の窓口が観光の部署だったようだが、市役所内でも部署を跨いだ情報共有に努めてほしい。</p> <p>このような形で、市外にも三豊市に関心をもってくれている人がたくさんいるということは非常にありがたいことではある。ただ単に荒らされてしまったというのではなく、三豊市にもしっかりと還元される形になってほしい。</p> <p>新しい情報は事務局である市に先に入ってくる場合もあるが、委員各位へ先に伝わる場合もあるかと思うので、それらを事務局で集約できるような体制をお願いしたい。</p>
<p>五領田委員</p>	<p>バスロケーションシステム「バス予報」の利用状況が分かれば</p>
<p>事務局</p>	<p>4月に導入したところあり、まだ利用者数等は把握できていないが、問い合わせ等もあることからある程度の利用は見込んでいる。</p>
<p>五領田委員</p>	<p>MitoPay 等、キャッシュレス決済の検討状況は。</p>
<p>事務局</p>	<p>MitoPay がバスで利用できれば良いとは思いますが、QR 決済ということで、朝夕のバス利用者が多い時間帯では大幅な遅延が発生する可能性があり、運転手への負担を考えると導入は難しいのではないかと思っている。そのあたりはもう少しスムーズな支払い方法にカスタムできないか、担当課へ投げかけているところである。交通系 IC を導入したいところだが、導入費用が高額であり、予算的に非常に厳しい状況である。</p>
<p>五領田委員</p>	<p>様々な事業に取り組んでいるようだが、広報活動について、例えば YouTube で公開しているバスの乗り方動画をゆめタウンの店舗内のどこかで流したり、各</p>

	イベントに絡めてPRしたりという協力はできると思う。
宮崎会長	非常にありがたい意見だと思う。他の委員も協力できるという点があればよろしくお願ひしたい。
事務局	<p>(2) 三豊市地域公共交通計画の成果指標について</p> <p><説明></p>
宮崎会長	乗り方教室には何度か参加させてもらったが、バスの存在を知らない人も多いが、「これだったら自分も乗れる」というような反応も多かった。今後も継続して取り組んでいただきたい。
事務局	<p>(3) 三豊市福祉有償運送運営協議会の設置について</p> <p><説明></p>
宮崎会長	本協議会や福祉有償運送運営協議会は別々に開催されているが、公共交通と福祉関係の移動サービス、どちらも利用しにくいという人もいて、そのような狭間にいる人もできる限りフォローしていきたいと思っている。両方の協議会に重複して参加されている委員も多く、情報共有しながら連携を図っていききたいので、よろしくお願ひしたい。
宮崎会長	<p>(4) その他</p> <p>全体を通してご意見等があれば。</p>
紀伊副会長	計画に沿って各事業が順調に進んでいるようである。ただ、今後、状況によって事業を見直していくということも必要になってくると思うが、その際に重要なのがモニタリングである。そのあたりの情報収集については、決済アプリ等のIT ツール等も非常に有効なので活用してほしい。
宮崎会長	それでは、今後の協議会について事務局から案内を。
事務局	今年度は3回程度の開催を予定している。次回は9月か10月あたりに開催することになるかと思うが、皆さんに急遽ご協議いただきたい案件等があればその際にご協力をお願いしたい
宮崎会長	新たな動きがあった場合等は、まずは地元の交通事業者や関係する方々に早

	<p>めに情報共有等をし、本協議会には報告という形でもいいと思う。ただ、案件によると思うので、その都度相談しながら進めていきたい。</p> <p>それでは、最後になるが J R 四国から、先日公表された線別収支と営業係数について説明を。</p>
長尾代理	<説明>
手嶋委員	<p>この件については、ただ単にコロナ禍で J R 四国の業績が悪化したというのではなく、鉄道も含めて今後の公共交通を真剣に考えていかなければならない状況にあるというようにご理解いただきたい。本協議会においては J R のサービスについて検討されたことはほとんど無いが、個人的には J R 四国は地域のために柔軟に対応していただける事業者だと思っているので、今後も情報共有をお願いし、マクロな取り組みも検討していただきたいと思う。</p>
宮崎会長	<p>J R ということで広域的な幹線となると本協議会で意見を出し辛い部分もあると思うが、通勤や通学と言った生活交通と考えれば皆さんもイメージしやすいと思う。J R のダイヤに関する意見もあるだろうが、J R からどのように次のモビリティに繋いでいくかということにも重点を置いて一緒に検討していきたいと思っているので、委員各位には今後もよろしくお願ひしたい。</p> <p>以上で、本日の協議会を終了する。</p>